

親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく――。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そこのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、〝きこえる世界〟と〝きこえない世界〟を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

*コーダ：きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大にとっては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持て余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが・・・。



監督：呉美保　主演：吉沢亮　脚本：港岳彦

忍足亜希子　今井彰人　ユースケ・サンタマリア　烏丸せつこ　でんでん

原扶貴子　山本浩司　河合祐三子　長井恵里

原作：五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」（幻冬舎刊）

企画・プロデュース：山国秀幸

製作：小山洋平　依田　伊藤義彦　野村弘幸　荒木宏幸　一力雅彦　藤ノ木正哉　鳥居明夫

企画：宮崎大　プロデューサー：長澤佳也　音楽：田中拓人　撮影：田中創　照明：溝口知　録音：小清水建治　美術：井上心平　装飾：櫻井啓介　小道具：吉永久美子

衣装：兼子潤子　ヘアメイク：山内聖子　原田ゆかり　キャスティング：神林理央子　演技事務：栃原紫帆　助監督：水波圭太　制作担当：柴野淳　協力プロデューサー：高橋潤

編集：田端華子　VFXスーパーバイザー：帆足誠　カラリスト：石原泰隆　オンラインエディター：野村みき　サウンドエディター：大保達哉

Living in Two Worlds

※台風により中止となった6月27日公演のチケットでご入場いただけます。

『誰もが安心して共に暮らせる社会の実現を目指して。』

前売券 1,200円 【当日券／一般：1,500円、障がい者：1,200 円、高校生以下（当日券のみ）：800円】

前売券販売所 高正U&Iセンターホール（鹿嶋勤労文化会館 TEL：0299-83-5911、第1・第3月曜日休館）
ショッピングセンターチェリオ、茨城映画センター

【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156
（土・日・祝日を除く 午前10：00～午後5：00）

※右記二次元コードの予約フォームより前売券のご予約が出来ます。

●後　援●（公財）鹿嶋市文化スポーツ振興事業団

●協　力●茨城県ユニセフ協会

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引